



# タマサート大学



Thammasat University

<http://www.tu.ac.th/en/>

英語・タイ語

学生交流締結年月日： 2013年8月20日  
 学術交流締結年月日： 2013年8月20日  
 協定上の派遣可能人数： 3名以内

Academic Calender		協定校申請締切※	必要な成績・語学能力スコア
春学期	1月～5月		
秋学期	8月～12月		

↑プログラムによって異なる。

※学内申請締切は協定校締切より早く設定しています。派遣希望者は必ず学内締切を確認してください。

## 概要

タマサート大学は、タイで2番目に古い大学。また、そのことだけでなく、高い知名度と尊厳も兼ね備えている。創設の主たる目的は、民主主義への愛と育成である。

1949年に大学のカリキュラムと大学構造における変化があり、法学部、政治学部、商業会計学部、そして経済学部といった4つの異なる学部が創設された。その後、1952年になってタマサート・レーカーンから現在のタマサート大学に名前が変わった。さらに1960年には、オープン大学としての形態を終え、国立入学試験を必要とすることとなった。

また、タマサート大学は、タイで初の教養学部を導入。これは、タイの高等教育において画期的なことであった。タマサート大学の第10代目の学長であるブイ・ウンパコーン博士は、ランシット・キャンパスの創設とともに理学部も併設。その年1986年は、大学にいくつかの変革があった。ランシット・キャンパスは、正式に新入生たちに開放された。そして、2006年には、新学部生は、4年間通してランシット・キャンパスで勉強することになった。その上、さらなる高等教育推進のためにタイ東部に位置するパタヤ・キャンパス（パタヤ教育リゾート）とタイ北部に位置するラムパン・キャンパス（タマサート・ランナー・カレッジ）が1995年と1996年にそれぞれ創設された。

タマサートは、人間による人間のための大学である。大学は、知識獲得のための場所として誠実に尽くし、そして、維持し続けるのである。その年を通して、学生たちは大学の優秀さだけを証明するのではなく、政治的社会的に活動してきた。大学は、常に社会の変化の強力な提案者であった。それゆえにタマサートの3つの基本主義は、全てにおける民主主義、自由主義、そして平等主義である。

所在地： バンコク、タイ王国



## おすすめコメント

(担当教員より)

Sirindhorn国際工科大学とPridi Banomyong国際大学を有し、英語のインターナショナルプログラムが充実しています。一方で、文学部日本語学科と日本研究センターもあり、日本人や日系企業との関係が深い大学でもあります。

(先輩・留学生より)

タマサート大学は、先生方、学生ともに交換留学生をサポートする体制が整っています。大学の近くは、治安も良く、美味しい屋台が数多くあります。タマサート大学に留学した多くの学生は、バンジャムルンという農村でホームステイをしています。この村は、6次産業化を手がけ、毎日観光客が100人以上来る特殊な村です。観光や過疎地域の発展に興味のある人に特におすすめです。